| 学校番号 | T1206 |
|---|---|

# 令和８年度　学チャレンジ

| 教科 | 学チャレンジ | 科目 | 課題探求２ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ４年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業ではクロームブックを用いて自分の興味関心を調べ、スライドで発表します。
社会問題やSDGsなどさまざまな分野に視野を広げて取り組みましょう。

2　学習の到達目標

自分の考えを正確に他人に伝える術を身に付けることを目標とする。
【知識及び技能】
機器を使用したプレゼンテーション資料の作成のための知識を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
発表を通して、他者に理解を促すためにどのような表現を用いるかなどの工夫をすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
意思の伝達において、日常におけるコミュニケーションなどに表現を取り入れ、円滑なコミュニケーションをとることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・クロームブックでのスライド作成に関わる操作を身につける。<br>・プレゼンテーションにおける表現方法の基礎を身につける。 | ・スライドが相手に伝わりやすいよう工夫がされている。<br>・実際のプレゼンテーションの発表を通して、相手に伝えるために工夫して表現している。 | 自分の考えを伝えるときに受けてである相手のことを考えて話すという意識を高めることで、日常のコミュニケーションにおいても相手の受け取り方を意識して表現することに関心を持とうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | プレゼンテーションとは | ・プレゼンテーションを学ぶ<br>・インターネットを利用した調べ学習 | a:効果的なプレゼンテーションの要素を理解している。<br>b:プレゼンテーションの場面に応じて、効果的なプレゼンテーションの要素を活用して表現している。<br>c: プレゼンテーションの場面に応じて、効果的なプレゼンテーションの要素を活用して表現しようとしている。 | 提出物 | 提出物 | 振り返り |
| | スライドの使い方 | ・スライドの基礎的な操作方法やスライドの作成 | a:スライドの基本的な操作を正しく行うことができる。<br>b:プレゼンテーションの内容に応じて、スライドデザインや攻勢を工夫して表現することができる。<br>c: プレゼンテーションの内容に応じて、スライドデザインや攻勢を工夫して表現しようとしている。 | 提出物 | 提出物 | 振り返り |
| 後期 | プレゼンテーションの方法 | ・プレゼンテーションにおける効果的な話し方、間の取り方、振る舞い<br>・発表用読み原稿の作成と想定問題集を作成 | a:発声や視線、ジェスチャーなどの基本的な技術を使うことができる。<br>b:聴衆の様子を観察して、話し方を変えるなど工夫して発表することができる。<br>c: 聴衆の様子を観察して、話し方を変えるなど工夫して発表しようとしている。 | 提出物 | 提出物 | 提出物<br>振り返り |
| | プレゼンテーションの実践 | ・クラスで一人ずつ決めたテーマについてプレゼンテーションを実施<br>・聴衆者による評価シートをもとに自分のプレゼンテーションの改善 | a:これまで学んだ知識を活用して構成がわかりやすいプレゼンテーションを作成できる。<br>b:自分の意図や主張を、論理的に発表することができる。<br>c: 自分の意図や主張を、論理的に発表しようとしている。 | 提出物 | 発表 | 発表<br>振り返り |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度